

クラッチ

共通作業	H- 1	クラッチ・リリース・シリンダ	
クラッチ・フルード	H- 1	分解/組付け	H- 7
クラッチ・フルード点検	H- 1	クラッチ・ユニット	H- 8
クラッチ・フルード交換/エア抜き	H- 1	クラッチ・ユニット取外し/取付け	H- 8
クラッチ・ペダル	H- 2	クラッチ・カバー	H-10
クラッチ・ペダル点検/調整	H- 2	クラッチ・カバー点検	H-10
クラッチ・ペダル取外し/取付け	H- 3	クラッチ・ディスク	H-11
クラッチ・マスタ・シリンダ	H- 4	クラッチ・ディスク点検	H-11
クラッチ・マスタ・シリンダ		クラッチ・リリース・カラー	H-11
取外し/取付け	H- 4	クラッチ・リリース・カラー点検	H-11
クラッチ・マスタ・シリンダ		パイロット・ベアリング	H-12
分解/組付け	H- 5	パイロット・ベアリング点検	H-12
クラッチ・リリース・シリンダ	H- 6	フライホイール	H-12
クラッチ・リリース・シリンダ		フライホイール点検	H-12
取外し/取付け	H- 6		

共通作業

クラッチ・パイプ

- クラッチ系統の油圧関連部品の取外しを行った場合は、取付け後クラッチ・フルードを補給し、エア抜きを行う。

クラッチ・パイプ・フレア・ナット

- クラッチ・パイプ・フレア・ナットは、SST (49 0259 770 B) を使用して締付ける。

クラッチ・フルード

クラッチ・フルード点検

- リザーバ・タンクのフルード：レベルが、MAXとMINの間であることを点検する。

クラッチ・フルード交換/エア抜き

注意

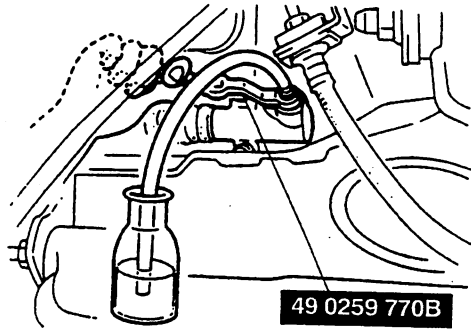
- フルードを塗装面に付着させない。もし、フルードを車両の塗装面に付着させた場合、すみやかに水洗し、拭取る。

1. SSTを使用して、エア抜き又はフルードの交換を行う。

締付けトルク

5.9~8.8 N・m {60~90 kgf・cm}

クラッチ・フルード、クラッチ・ペダル



2. 新品の指定フルードをリザーバ・タンクのMAXレベルまで補充する。

クラッチ・ペダル

クラッチ・ペダル点検／調整 クラッチ・ペダル高さ点検／調整

1. クラッチ・ペダル・パッド上面からフロア・マットまでの寸法を測定する。

標準値

175～185 mm

2. 標準値外の場合は、クラッチ・スイッチBのロックナットAをゆるめ、クラッチ・スイッチBでペダル高さを調整し、再びロックナットAを締付ける。

クラッチ・ペダル遊び点検／調整

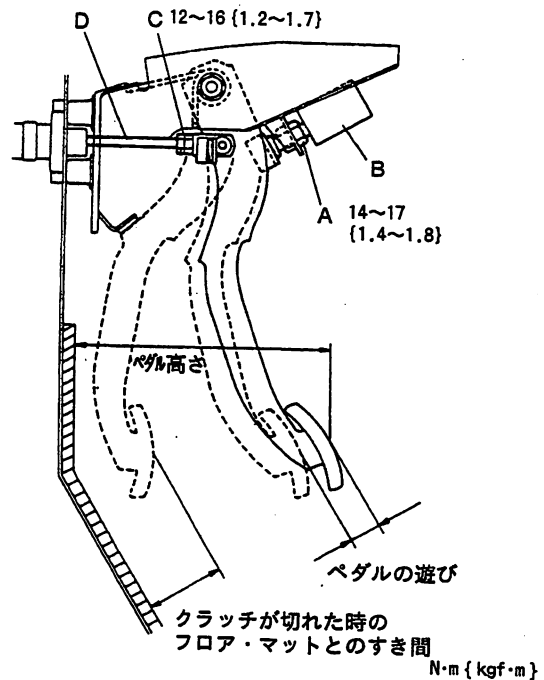
1. クラッチ・ペダルをクラッチの抵抗を感じるまで手で軽く押し、ペダルの遊びを測定する。

標準値

プッシュ・ロッドの遊び (ペダル上にて) :

0.6～3.1 mm

総合の遊び : 5～13 mm



2. 標準値外の場合は、ロックナットCをゆるめ、プッシュ・ロッドDでペダルの遊びを調整し、再びロックナットCを締付ける。
3. クラッチが切れたときのフロア・マットとペダル・パッド上面の隙間が標準値であることを確認する。

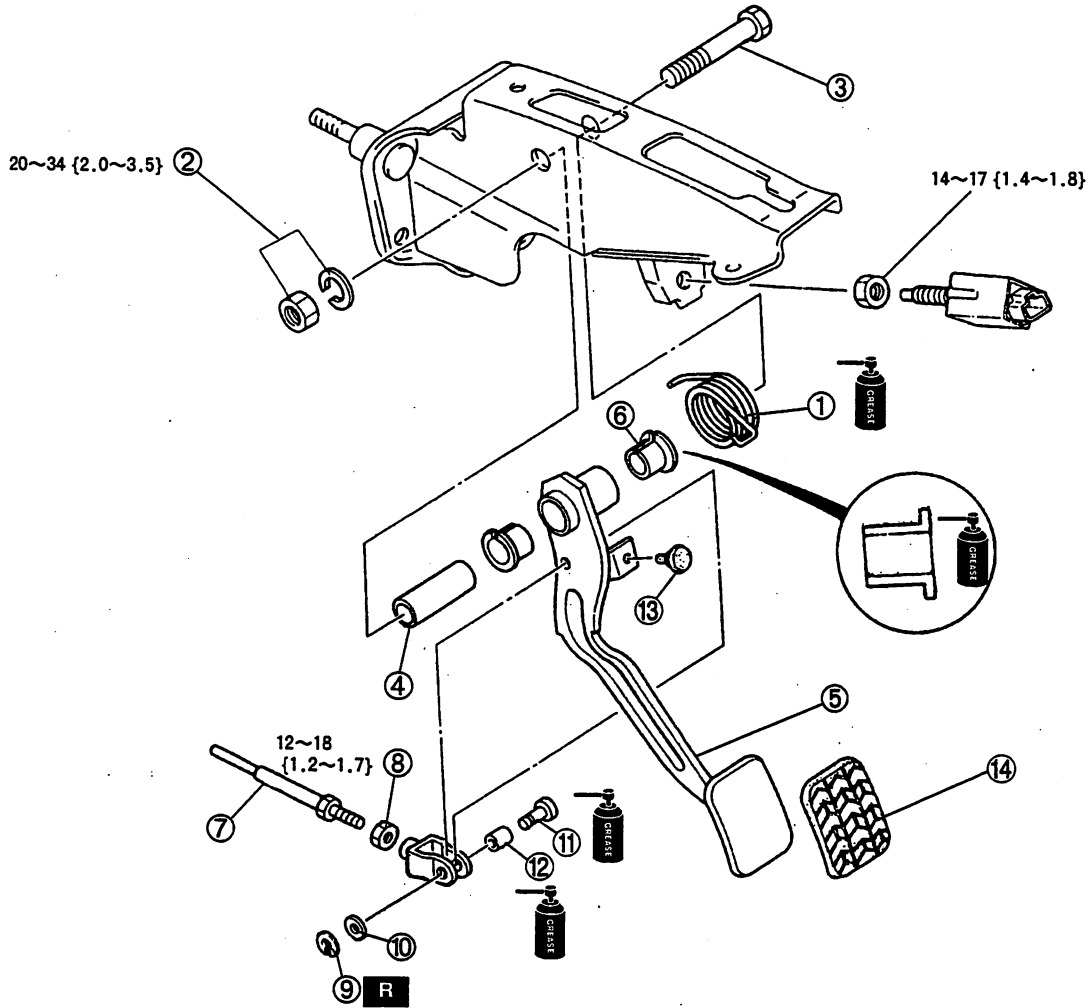
標準値

65 mm 以上 (フロア・マットからペダル・パッド上面)

クラッチ・ペダル

クラッチ・ペダル取外し/取付け

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. 図に示す手順で取外す。
3. 取外しと逆の手順で取付ける。
4. クラッチ・ペダルの高さおよび遊びを調整する。(参照：クラッチ・ペダル、クラッチ・ペダル点検/調整)



N·m { kgf·m }

1	スプリング
2	ナット、ロックワッシャ
3	ボルト
4	スペーサ
5	クラッチ・ペダル
6	ブッシュ
7	ブッシュ・ロッド

8	ナット
9	クリップ
10	ウェーブ・ワッシャ
11	ピン
12	スペーサ
13	ストップ・ラバー
14	ペダル・パット

クラッチ・マスタ・シリンダ

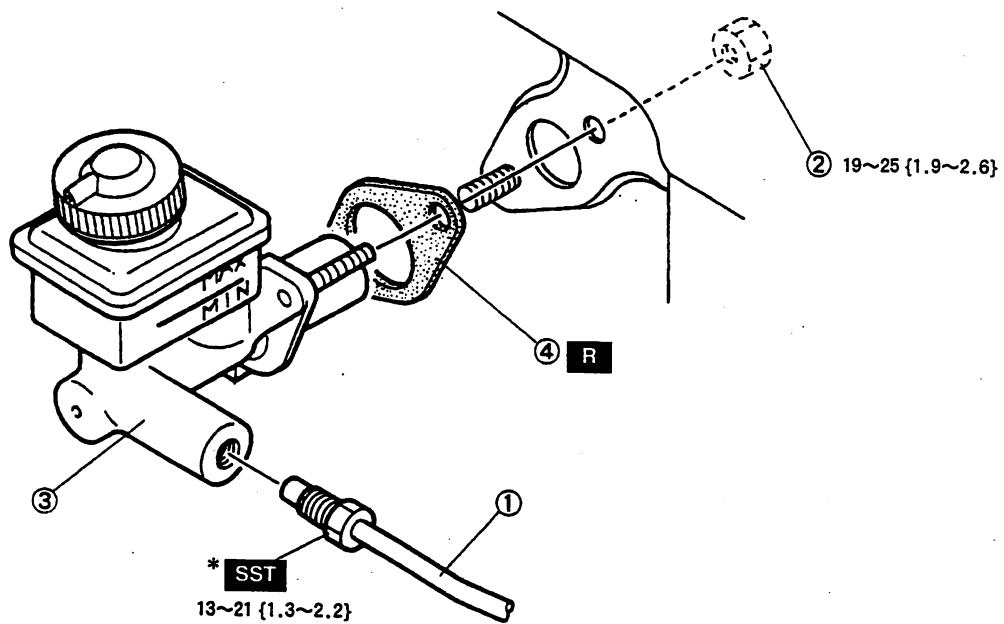
クラッチ・マスタ・シリンダ

クラッチ・マスタ・シリンダ取外し／取付け

注意

- フルードを塗装面に付着させない。もし、フルードを車両の塗装面に付着させた場合、すみやかに水洗いし、拭取る。

1. 図に示す手順で取外す。
2. 取外しと逆の手順で取付ける。
3. クラッチ・ペダルの高さおよび遊びを調整する。(参照：クラッチ・ペダル、クラッチ・ペダル点検／調整)



*49 0259 770 B

N·m { kgf·m }

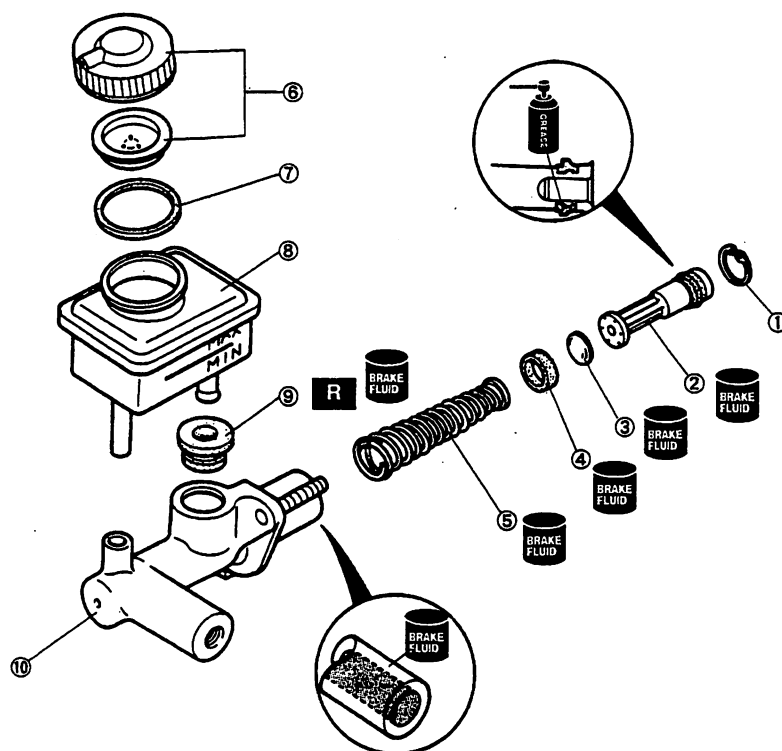
1	クラッチ・パイプ
2	ナット

3	クラッチ・マスタ・シリンダ
4	ガスケット

クラッチ・マスタ・シリンダ

クラッチ・マスタ・シリンダ分解／組付け

1. 図に示す手順で分解する。
2. 分解と逆の手順で組付ける。

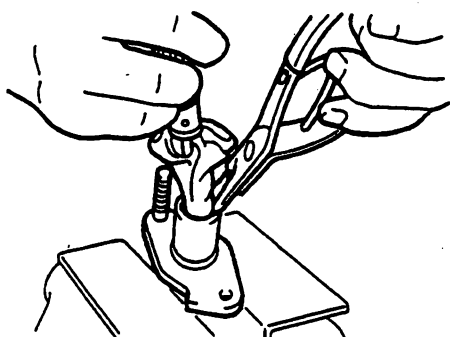


1	スナップ・リング ☞ 分解／組付け時の留意点
2	ピストン、セカンダリ・カップ ☞ 分解時の留意点
3	スペーサ
4	プライマリ・カップ

5	リターン・スプリング
6	タンク・キャップ、パッフル
7	パッキン
8	リザーバ・タンク
9	プッシュ
10	マスタ・シリンダ・ボデー

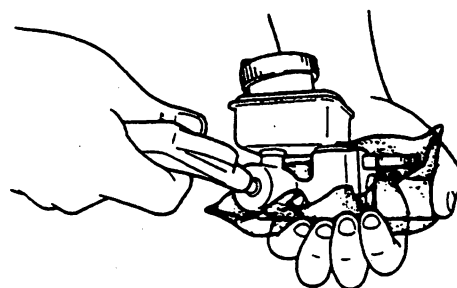
スナップ・リング分解／組付け時の留意点

- プッシュ・ロッドが接触する面を損傷させないためウエスを巻いたピンポンチ等を使用して、ピストンを押込んだ状態でスナップ・リングの取外し／取付けを行う。



ピストン、セカンダリ・カップ分解時の留意点

- ピストン、セカンダリ・カップが飛び出すのを防ぐため、マスタ・シリンダのバルブ取出し口をウエスで保護し、クラッチ・パイプ取付け穴から圧縮空気を徐々に吹込んでピストン、セカンダリ・カップを取外す。



クラッチ・リリース・シリンダ

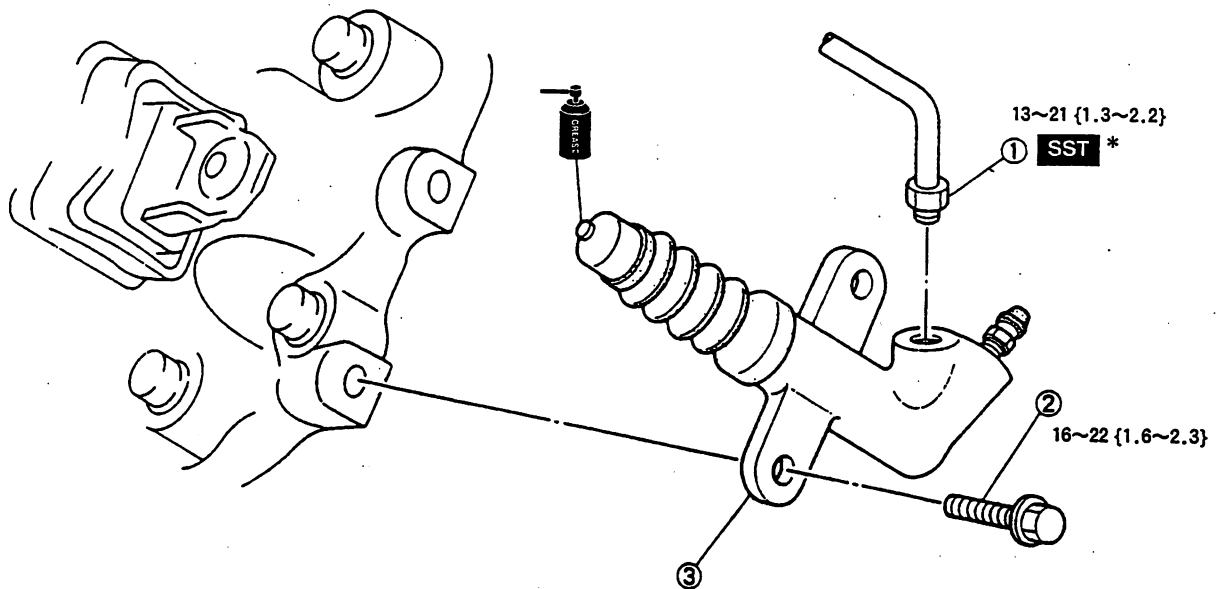
クラッチ・リリース・シリンダ

クラッチ・リリース・シリンダ取外し／取付け

注意

- フルードを塗装面に付着させない。もし、フルードを車両の塗装面に付着させた場合、すみやかに水洗いし、拭取る。

- 図に示す手順で取外す。
- 取外しと逆の手順で取付ける。



*49 0259 770 B

N·m { kgf·m }

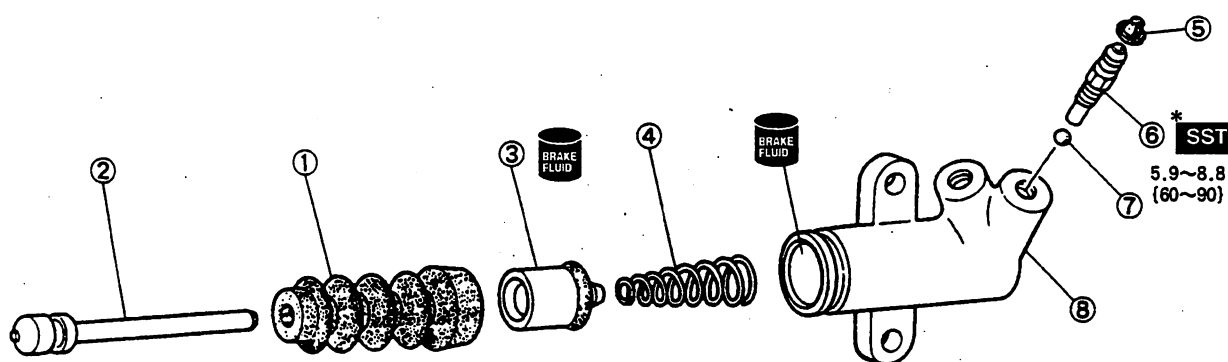
1	クラッチ・パイプ
2	ボルト

3	クラッチ・リリース・シリンダ
---	----------------

クラッチ・リリース・シリンダ

クラッチ・リリース・シリンダ分解／組付け

1. 図に示す手順で分解する。
2. 分解と逆の手順で組付ける。



*49 0259 770 B

N·m { kgf·cm }

1	ブーツ
2	プッシュ・ロッド
3	ピストン、ピストン・カップ
4	リターン・スプリング

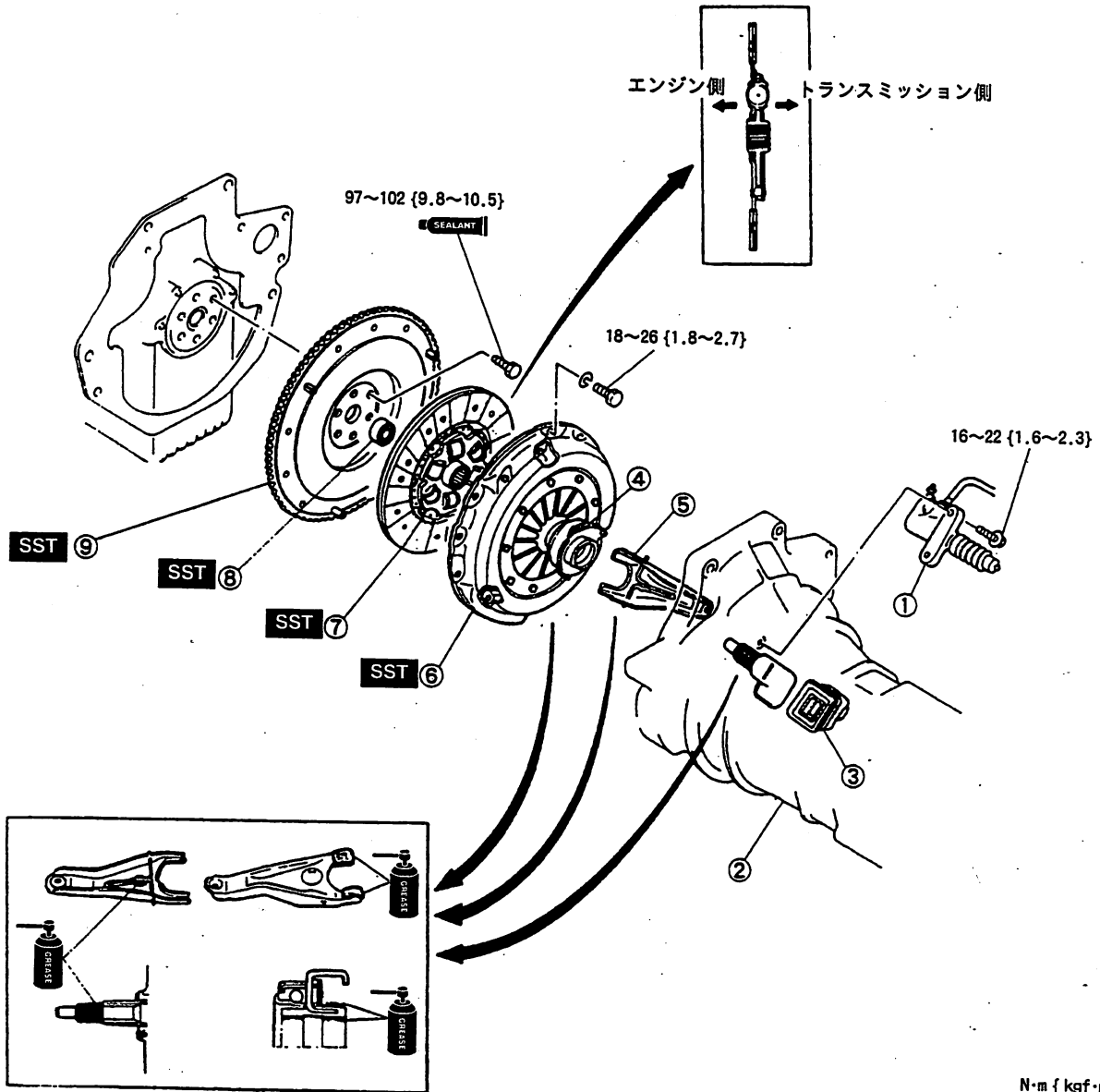
5	ブリーダ・キャップ
6	ブリーダ・スクリュ
7	スチール・ボール
8	リリース・シリンダ・ボデー

クラッチ・ユニット

クラッチ・ユニット

クラッチ・ユニット取外し/取付け

1. 図に示す手順で取外す。
2. 取外しと逆の手順で取付ける。



N·m { kgf·m }

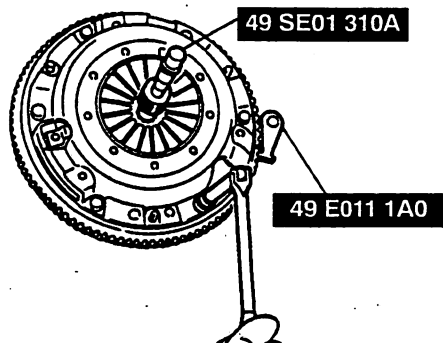
1	クラッチ・リリース・シリンダ
2	マニュアル・トランスミッション ☑ セクションJ、マニュアル・トランスミッション、マニュアル・トランスミッション取外し/取付け
3	ブーツ
4	クラッチ・リリース・ベアリング
5	クラッチ・リリース・フォーク
6	クラッチ・カバー ☑ 取外し時の留意点 ☑ 取付け時の留意点

7	クラッチ・ディスク ☑ 取外し時の留意点 ☑ 取付け時の留意点
8	パイロット・ベアリング ☑ 取外し時の留意点 ☑ 取付け時の留意点
9	フライホイール ☑ 取外し時の留意点 ☑ 取付け時の留意点

クラッチ・ユニット

クラッチ・カバー、クラッチ・ディスク取外し時の留意点

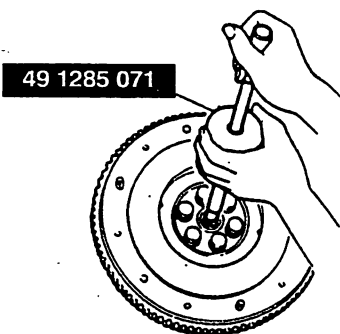
1. SSTを取付ける。
2. スプリング力がなくなるまで、ボルトを対角線に1回転ずつ緩める。



パイロット・ベアリング取外し時の留意点

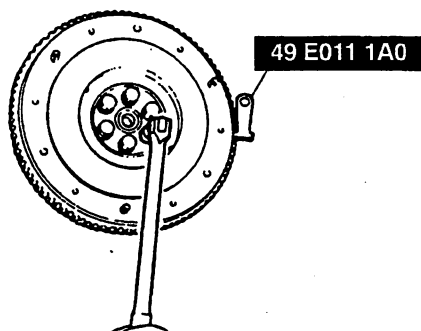
参考

- パイロット・ベアリングは不具合がある場合のみ取外す。
- SSTを使用して、パイロット・ベアリングを取外す。



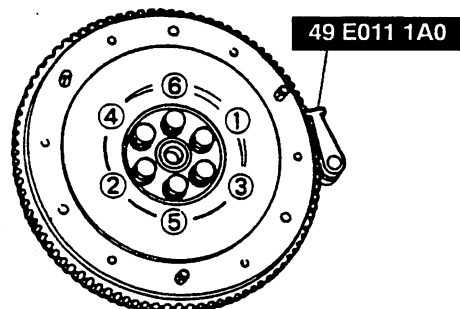
フライホイール取外し時の留意点

1. SSTを取付ける。
2. フライホイール・ロック・ボルトを、図に示す番号順に、徐々にゆるめて取外す。



フライホイール取付け時の留意点

1. SSTを使用して、フライホイールに回り止めをする。
2. フライホイール・ロック・ボルトには、ネジ・ロック・スーパー1322を塗布する。なお、新品のロック・ボルトを使用する場合は、ネジ・ロック・スーパーの塗布は不要。
3. フライホイール・ロック・ボルトを、図に示す番号順に徐々に締付ける。

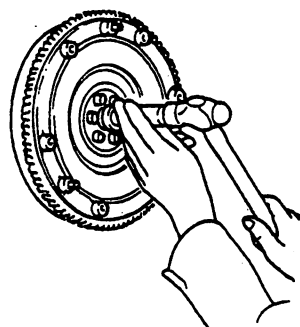


パイロット・ベアリング取付け時の留意点

- 適当なパイプを使用して、新品のパイロット・ベアリングを取付ける。

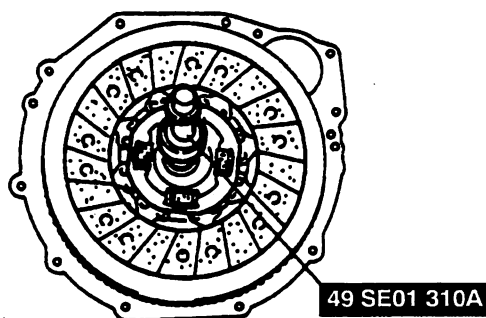
圧入深さ

0~0.4 mm



クラッチ・ディスク取付け時の留意点

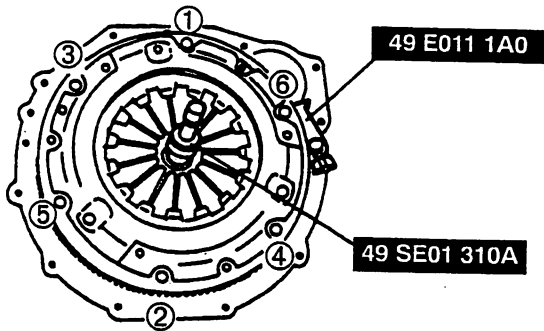
- SSTを使用して、クラッチ・ディスクをフライホイールに保持する。



クラッチ・ユニット、クラッチ・カバー

クラッチ・カバー取付け時の留意点

- SSTを使用して、図に示す番号順に徐々に締付ける。



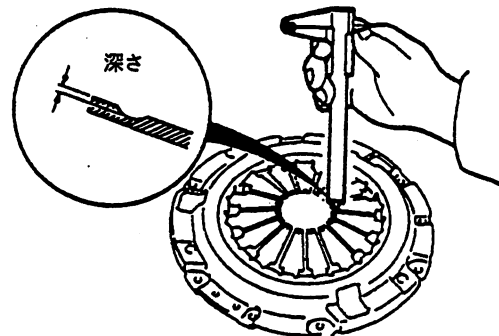
クラッチ・カバー

クラッチ・カバー点検

1. クラッチ・カバーを取外す。(参照：クラッチ・ユニット、クラッチ・ユニット取外し/取付け)
2. ノギスを使用して、ダイヤフラム・スプリング・フィンガ部の摩耗の深さを点検する。

限度値

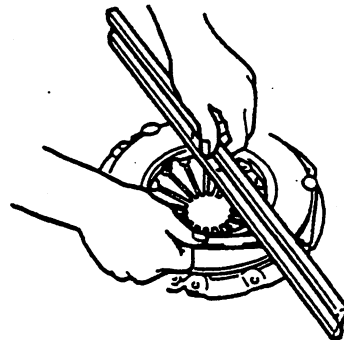
0.6 mm



3. ストレート・エッジとシクネス・ゲージを使用して、プレッシャ・プレートの平坦度を点検する。

限度値

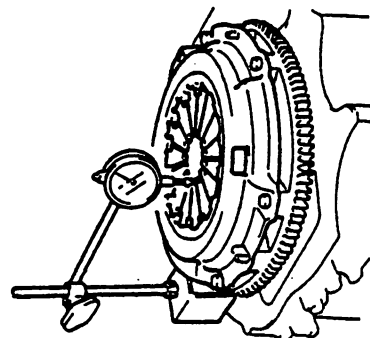
0.5 mm



4. シリンダ・ブロックにダイヤル・ゲージを取付けて、フライホイールを回転させ、ダイヤフラム・スプリング・フィンガ部の高さ不揃いを点検する。

限度値

0.6 mm



5. 不具合のある場合は、交換する。

クラッチ・ディスク、クラッチ・リリース・カラー

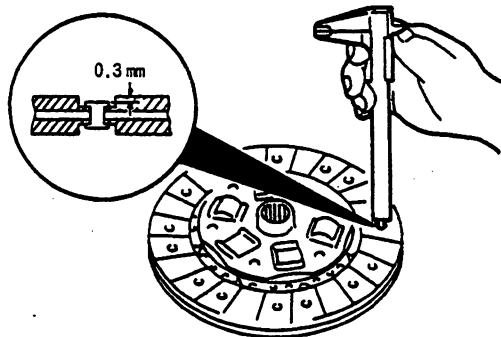
クラッチ・ディスク

クラッチ・ディスク点検

1. クラッチ・ディスクを取外す。(参照：クラッチ・ユニット、クラッチ・ユニット取外し/取付け)
2. ノギスを使用して、フェーシング面からリベット頭までの深さを測定する。

限度値

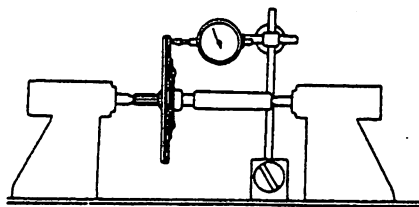
0.3 mm



3. ダイアル・ゲージを使用して、クラッチ・ディスクの振れを測定する。

限度値

0.7 mm

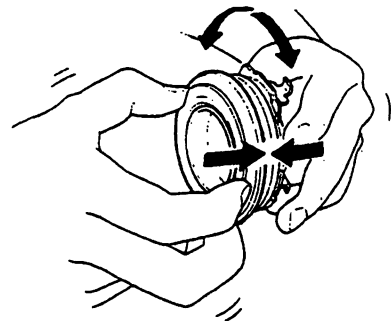


4. 不具合のある場合は、交換する。

クラッチ・リリース・カラー

クラッチ・リリース・カラー点検

1. クラッチ・リリース・カラーを取外す。
2. クラッチ・リリース・カラーを手でスラスト方向に押しながら回転させ、回転の引っ掛かり、異音を点検する。



3. 不具合のある場合は、交換する。

パイロット・ベアリング、フライホイール

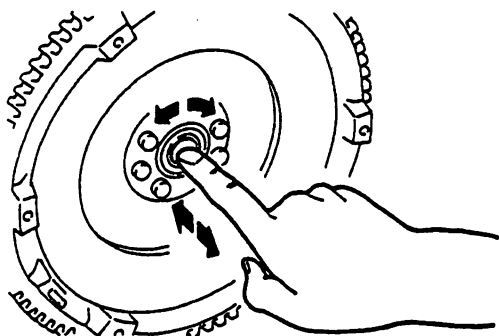
パイロット・ベアリング

パイロット・ベアリング点検

参考

- パイロット・ベアリングの点検は、フライホイールに装着されている状態で行う。

- クラッチ・ディスクを取外す。(参照：クラッチ・ユニット、クラッチ・ユニット取外し/取付け)
- パイロット・ベアリングの回転状態を点検する。



- 不具合のある場合は、交換する。

フライホイール

フライホイール点検

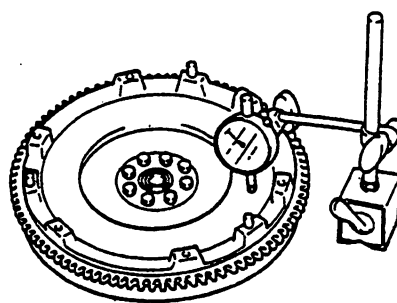
参考

- クラッチ・ディスク当たり面の振れ点検は、クランクシャフトに装着された状態で行う。

- ダイヤル・ゲージを使用して、クラッチ・ディスクの当たり面の振れを測定する。

限度値

0.2 mm



- 不具合のある場合は、交換する。